

- 4 検案を行っている医師についてお尋ねします。  
 死体取扱規則に基づく取扱のうち、平成13年1月から3月までの検案医の内訳について教えてください。  
 なお、身分が重複している場合は、優先順位（①法医学者 ②検案認定医 ③警察医 ④一般臨床医の順番）によりカウント願います。

	平成13年（1～3月）
警察医	件
一般臨床医	件
法医学者	件
検案認定医	件

- ※ 警察医： 警察から委嘱を受け、検案等を行っている警察嘱託医、警察協力医等を指す。  
 法医学者： 大学の法医学教室に所属する医師を指す。  
 検案認定医： 法医学会によって認定された検案認定医を指す。

- 5 警察医等の人数を教えてください  
 平成14年1月末現在  
 警察医 \_\_\_\_\_人  
 検案認定医 \_\_\_\_\_人

- 6 死体取扱規則に基づく検案費用は、誰が負担していますか。  
 ① 都道府県  
 ② 都道府県警察  
 ③ 医師会  
 ④ 遺族  
 ⑤ 1～3のいずれかが共同負担  
 ⑥ その他（ \_\_\_\_\_ ）

- 7 徴収している検案費用および検案書料の額（6で「④遺族」と回答した場合のみ）  
 ① \_\_\_\_\_円  
 ② 特段、決まっていない。



13 警察医、一般臨床医の法医学的知識、技術の普及向上に方策を講じていますか。(複数回答可)

- ① 研修会の開催(年\_\_\_\_回)
- ② 解剖見学
- ③ その他( )

14 警察医が検案を行った場合と一般臨床医が検案を行った場合とでは、それぞれの検案結果に何か差を感じたことはありますか。あれば例を挙げて下さい。

例
---

15 監察医制度に対するご意見について

監察医制度については、死因不明の急性死や事故などで亡くなられた方の検案や解剖を行い、その死因を解明することによって公衆衛生の向上と社会福祉の増進に寄与するものであり、現在、政令により、東京都の区の存する地域・大阪市・横浜市・名古屋市・神戸市の5地域に監察医が置かれていますが、同制度についてのご意見をお尋ねします。

- ① 現在のままでよい
- ② 何かしらの形で改めるべき  
(具体的なお提言がございましたら、ご記入下さい。)

--

ご意見ありがとうございました。

都道府県名	担当所属	お名前

アンケート項目別集計表

承諾解剖の有無

あり(%)	40
なし	5
回答なし	2
合計	47

解剖率(対異状死体数)		行政・承諾解剖率 (対異状死体数)		司法解剖率 (対異状死体数)	
5%未満	18	0.5%未満	16	2.0~3.9%	14
5~9.9%	23	0.5~0.99%	11	4.0~5.9%	20
10~19.9%	2	1.0~1.99%	9	6.0~7.9%	9
20%以上	2	2.0%以上	5	8.0%以上	2
データなし	2	データなし	6	データなし	2
合計	47	合計	47	合計	47

解剖率(対人口10万人)		行政・承諾解剖率 (対人口10万人)		司法解剖率 (対人口10万人)	
5未満	23	0.5未満	17	2.0~3.9	22
5~9.9	20	0.5~0.99	11	4.0~5.9	17
10~19.9	1	1.0~1.99	8	6.0~7.9	6
20以上	3	2.0以上	5	8.0以上	2
データなし	0	データなし	6	データなし	0
合計	47	合計	47	合計	47

解剖率(対死亡数)		行政・承諾解剖率 (対死亡数)		司法解剖率 (対死亡数)	
0.5%未満	18	0.04%未満	15	0.20~0.39%	12
0.5~0.99%	23	0.05~0.09%	13	0.40~0.59%	20
1.0~1.99%	2	0.1~0.19%	7	0.60~0.79%	8
2.0%以上	4	0.2%以上	6	0.80%以上	7
データなし	0	データなし	6	データなし	0
合計	47	合計	47	合計	47

司法解剖数 総解剖数		行政・承諾解剖数 総解剖数		行政・承諾解剖数 司法解剖数	
0.5以下	4	0.1未満	14	0.1未満	12
0.5～0.99	37	0.1～0.19	16	0.1～0.19	16
1	6	0.2～0.39	7	0.2～0.49	7
データなし	0	0.4～0.59	0	0.5～0.99	2
合計	47	0.6～0.79	1	1.0以上	4
		0.8以上	3	データなし	6
		データなし	6	合計	47
		合計	47		

#### 承諾解剖を行う目的

1 事件性のある可能性は低いですが、確認する必要がある場合	228	43.7%
2 自損交通事故の原因が疾患である可能性がある場合	31	5.9%
3 路上死亡例で交通事故との関連が疑われる場合	6	1.1%
4 労働災害で自己過失が疑われる場合	3	0.6%
5 業務上過失致死の被疑者を立てにくい場合	2	0.4%
6 医事紛争が関係する場合(医療過誤、医療事故を含む)	20	3.8%
7 家庭内事故死例	10	1.9%
8 過労死の疑いがある場合	0	0.0%
9 乳幼児の突然死例	65	12.5%
10 授業中、クラブ活動中の死亡例	1	0.2%
11 いじめの関係が疑われる死亡例(自殺を含む)	1	0.2%
12 病歴のない青壮年の突然死例	112	21.5%
13 伝染病の疑いがある場合	1	0.2%
14 食中毒の疑いがある場合	1	0.2%
15 災害関連死の疑いがある場合	5	1.0%
16 他国籍船舶内の死亡	0	0.0%
17 その他	36	6.9%
合計	522	100.0%

解剖経費		検案費用負担者		解剖費用の負担者	
10万未満	2	1:都道府県	3	1:都道府県	21
10万～49万	12	2:警察	2	2:警察	15
50万～99万	6	3:医師会	0	3:医師会	0
100万～199万	5	4:遺族	36	4:遺族	2
200万～299万	2	5:1～3共同負担	0	5:1～3共同負担	0
300万～399万	2	6:その他	0	6:その他	0
1000万以上	2	1,4	4	1,2	2
予算なし	16	2,4,6	1	1,4	1
合計	47	データなし	1	1,2,4,6	1
		合計	47	データなし	5
				合計	47

執刀者		貢献		知識、技術の普及向上の方策	
1:法医学者	30	1:公衆衛生	2	1:研修会開催	30
2:病理医	0	2:司法	17	2:解剖見学	0
3:警察医	0	3:両方	27	3:その他	2
4:監察医	0	4:ない	0	1,2	3
5:その他	0	データなし	1	1,2,3	1
1,2	5	合計	47	1,3	1
1,4	2			方策なし	2
1,5	1			データなし	8
1,2,5	1			合計	47
データなし	8				
合計	47				

知識、技術の普及向上の方策の年間の回数

1回	19
1～2回	2
2回	16
3回	2
5回	1
合計	40

警察医と臨床医で検案結果の差があるか

臨床医は警察の言いなり	2
臨床医は死因不詳が多い	3
臨床医はよく観察しない	2
臨床医は経験が乏しい	2
臨床医は法医学的知識が少ない	5
臨床医は異状死体の理解不足	1
臨床医は信頼性に乏しい	1
臨床医は責任感が乏しい	1
差異なし	7
警察医の検案なし	1
比較なし	17
データなし	5
<hr/>	
合計	47

問題点・改善すべき点

現行のままでよい	10
現制度で内容充実	2
監察医制度拡大・充実	15
監察医制度を拡大すべき	5
監察医制度を全国で導入すべき	9
政令指定都市の監察医制度充実	1
監察医以外のシステムが必要	3
事件性のない遺体の死因究明システム	1
剖検センター	1
全県をカバーする組織	1
監察医地域とそれ以外の地域間の不公平感	1
県下各大学間で検討中	1
回答なし	15
<hr/>	
合計	47

機関名	解剖率			平成9年		平成10年		平成11年		平成12年		平成13年		司法解剖 に変更し た例数
	平成11 年	平成12 年	平成13 年	検索数	解剖数	検索数	解剖数	検索数	解剖数	検索数	解剖数	検索数	解剖数	
東京都 監察医 務院	25.9%	24.0%	24.7%	9,052	2,340	9,982	2,396	10,273	2,542	10,132	2,264	10,002	2,386	10
神奈川 県監察 医														
愛知県 監察医	100.0%	91.0%	90.8%	44	44	78	71	76	69	38	34	39	39	0
大阪府 監察医 事務所	34.5%	28.2%	28.5%	3,120	1,077	3,558	1,002	3,689	1,053	3,411	978	3,622	1,069	19
兵庫県 監察医 務室	70.6%	63.5%	64.7%	897	633	1,106	702	1,255	812	1,173	801	1,262	883	



監察医		事務職		解剖補助		検査技師		運転手		その他		経費の負担								
常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	自治体	遺族	病院	県	警察	医師会	個人	大学	
9	43	12	0	0	16	12	0	7	0			東京都								
													○							
1	2				1							愛知県								
0	38			3		3		1	0	3		大阪府	○							
1	12	0	2	0	0	0	0	0	0			兵庫県								

遺族負担費用			報告書			監察医の貢献							
解剖代	届け用検案書	検案書再発行	有無・形態(報告書、その他、なし)	報告機関	その他	疫学資料	臨床還元	衛生問題	法律手続き	精神的ケア	犯罪捜査・防止	その他	その他の内容
0	400	1500	專業概要	国会図書館、各医科大学、医師会		5	5	4	4	4	5		
			なし										
0	発行しない	発行しない	報告書	県知事		5	4	3	5	5	3		
0	2200	2200	死因調査年報	各大学法医学教室、大阪市各区役所、大阪市内各警察署、東京都監察医務院、厚生労働省、など		5	4	4	4	4	4		
0	3000	3000	死因統計年報	各大学法医学教室、兵庫県市町村役所、神戸市各区役所、兵庫県下各警察署、東京都監察医務院、厚生労働省、など		5	5	4	4	4	4		

ほぼ等しく両方への 貢献	改善すべき 点	具体的に
両方	あり	1 外部評価導入の必要性 2 都内23区および多摩地区の監察医制度の一体化 3 監察医および監察医補佐の人員の充足 4 大規模災害時における法医学会との連携
？ 制度そのものが 医学領域より社会的 領域貢献の目的 ではないか	あり	現在、この地は大学法医学教室にほとんど依存しており、組織がほとんどない。本格的に実施するにはシステム整備が不可欠。
	あり	年間を通して2人勤務制にすべき
		専属の検査技師がいないため、神戸大学医学部法医学教室や各監察医の所属機関で薬物検査や組織検査を行っている。人員を配置して兵庫県監察医務室として検査を行える体制を整えるべきである。

都道府県名	承諾解剖の有無	解剖率(対異状死体数)				解剖率(対人口10万人)				解剖率(対死亡数)			
		平成11年	平成12年	平成13年	平均	平成11年	平成12年	平成13年	平均	平成11年	平成12年	平成13年	平均
北海道	あり	4.8%	5.6%	6.2%	5.5%	4.2	4.8	4.4	4.5	0.53%	0.63%	0.58%	0.58%
青森	あり	7.2%	9.5%	9.5%	8.8%	7.1	10.2	10.7	9.3	0.78%	1.14%	1.18%	1.03%
岩手	あり	4.3%	5.3%	6.0%	5.2%	4.8	5.6	6.3	5.6	0.51%	0.64%	0.74%	0.62%
宮城	あり	7.9%	8.4%	8.1%	8.2%	6.2	6.9	6.8	6.6	0.83%	0.95%	0.92%	0.90%
秋田	あり	8.3%	8.5%	9.6%	8.8%	9.0	8.7	10.0	9.2	0.88%	0.86%	0.99%	0.91%
山形	あり	8.1%	9.1%	9.1%	8.8%	7.3	8.0	9.0	8.1	0.74%	0.84%	0.94%	0.84%
福島	あり	6.5%	6.0%	4.6%	5.7%	6.6	6.3	4.9	6.0	0.73%	0.72%	0.55%	0.67%
茨城	あり	4.0%	4.2%	4.2%	4.1%	3.9	4.2	4.3	4.2	0.50%	0.55%	0.56%	0.54%
栃木	あり	5.9%	5.3%	4.2%	5.1%	6.6	6.0	4.9	5.8	0.83%	0.77%	0.87%	0.82%
群馬	あり	2.7%	4.8%	4.2%	3.9%	2.3	4.1	3.8	3.4	0.27%	0.52%		0.39%

都道府県名	行政・承諾解剖率 (対異状死体数)				行政・承諾解剖率 (対人口10万人)				行政・承諾解剖率 (対死亡数)			
	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平均	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平均	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平均
北海道	0.73%	0.45%	0.39%	0.53%	0.63	0.39	0.28	0.43	0.08%	0.05%	0.04%	0.06%
青森	1.44%	1.01%	1.03%	1.15%	1.43	1.08	1.15	1.22	0.16%	0.12%	0.13%	0.14%
岩手	0.19%	0.20%	0.07%	0.15%	0.21	0.21	0.07	0.16	0.02%	0.02%	0.01%	0.02%
宮城	0.27%	0.36%	0.20%	0.28%	0.21	0.30	0.17	0.23	0.03%	0.04%	0.02%	0.03%
秋田	1.71%	1.57%	1.79%	1.69%	1.84	1.60	1.86	1.77	0.18%	0.16%	0.18%	0.17%
山形	0.54%	0.36%	0.40%	0.43%	0.48	0.32	0.40	0.40	0.05%	0.03%	0.04%	0.04%
福島	0.74%	0.53%	0.31%	0.52%	0.75	0.56	0.33	0.55	0.08%	0.06%	0.04%	0.06%
茨城	1.34%	1.79%	1.22%	1.45%	1.31	1.81	1.27	1.46	0.17%	0.24%	0.16%	0.19%
栃木	1.35%	1.05%	0.90%	1.10%	1.51	1.20	1.04	1.25	0.19%	0.15%	0.19%	0.18%
群馬	0.36%	0.85%	0.50%	0.57%	0.30	0.74	0.44	0.50	0.04%	0.09%		0.06%

都道府県名	司法解剖率 (对異常死体数)				司法解剖率 (对人口10万人)				司法解剖率 (对死亡数)			
	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平均	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平均	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平均
北海道	4.10%	5.18%	5.77%	4.97%	3.54	4.43	4.15	4.04	0.45%	0.58%	0.54%	0.53%
青森	5.76%	8.46%	8.47%	7.63%	5.70	9.08	9.51	8.10	0.62%	1.02%	1.05%	0.90%
岩手	4.08%	5.08%	5.94%	5.01%	4.61	5.44	6.27	5.44	0.49%	0.62%	0.73%	0.61%
宮城	7.67%	8.07%	7.87%	7.87%	6.00	6.60	6.59	6.40	0.80%	0.91%	0.90%	0.87%
秋田	6.60%	6.95%	7.82%	7.12%	7.12	7.06	8.12	7.43	0.70%	0.70%	0.81%	0.73%
山形	7.61%	8.72%	8.65%	8.34%	6.82	7.72	8.62	7.72	0.69%	0.81%	0.89%	0.80%
福島	5.72%	5.48%	4.34%	5.17%	5.83	5.78	4.61	5.41	0.65%	0.66%	0.51%	0.61%
茨城	2.68%	2.38%	2.95%	2.67%	2.63	2.41	3.07	2.71	0.33%	0.31%	0.40%	0.35%
栃木	4.54%	4.23%	3.31%	4.02%	5.08	4.84	3.83	4.58	0.64%	0.62%	0.68%	0.64%
群馬	2.32%	3.91%	3.74%	3.35%	1.95	3.41	3.35	2.91	0.23%	0.43%		0.33%

都道府県名	司法解剖数／総解剖数				行政・承諾解剖数／総解剖数				行政・承諾解剖数／司法解剖数			
	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平均	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平均	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平均
北海道	0.85	0.92	0.94	0.90	0.15	0.08	0.06	0.10	0.18	0.09	0.07	0.11
青森	0.80	0.89	0.89	0.87	0.20	0.11	0.11	0.13	0.25	0.12	0.12	0.15
岩手	0.96	0.96	0.99	0.97	0.04	0.04	0.01	0.03	0.05	0.04	0.01	0.03
宮城	0.97	0.96	0.98	0.97	0.03	0.04	0.03	0.03	0.04	0.04	0.03	0.04
秋田	0.79	0.82	0.81	0.81	0.21	0.18	0.19	0.19	0.26	0.23	0.23	0.24
山形	0.93	0.96	0.96	0.95	0.07	0.04	0.04	0.05	0.07	0.04	0.05	0.05
福島	0.89	0.91	0.93	0.91	0.11	0.09	0.07	0.09	0.13	0.10	0.07	0.10
茨城	0.67	0.57	0.71	0.65	0.33	0.43	0.29	0.35	0.50	0.75	0.41	0.54
栃木	0.77	0.80	0.79	0.79	0.23	0.20	0.21	0.21	0.30	0.25	0.27	0.27
群馬	0.87	0.82	0.88	0.85	0.13	0.18	0.12	0.15	0.15	0.22	0.13	0.17

都道府県名	平成11年							
	人口	死亡数	死体取り扱い総数	死体規則に基づく取り扱い数	司法解剖数	監察医解剖数	行政・承諾解剖数	総解剖数
北海道	5,684,000	44,414	4,902	3,679	201	0	36	237
青森	1,473,000	13,445	1,459	1,246	84	0	21	105
岩手	1,411,000	13,364	1,594	728	65	0	3	68
宮城	2,350,000	17,594	1,839	1,539	141	0	5	146
秋田	1,194,000	12,142	1,287	443	85	0	22	107
山形	1,246,000	12,310	1,117	876	85	0	6	91
福島	2,128,000	19,215	2,169	1,721	124	0	16	140
茨城	2,967,000	23,373	2,908	2,128	78	0	39	117
栃木	1,989,000	15,851	2,226	1,954	101	0	30	131
群馬	1,999,000	16,683	1,680	1,551	39	0	6	45



都道府県名	平成12年							
	人口	死亡数	死体取り扱い 総数	死体規則に 基づく取り扱い 数	司法解剖数	監察医解剖 数	行政・承諾 解剖数	総解剖数
北海道	5,683,000	43,407	4,864	3,762	252	0	22	274
青森	1,476,000	13,147	1,583	1,354	134	0	16	150
岩手	1,416,000	12,517	1,515	731	77	0	3	80
宮城	2,365,000	17,127	1,932	1,630	156	0	7	163
秋田	1,189,000	12,026	1,208	735	84	0	19	103
山形	1,244,000	11,842	1,101	892	96	0	4	100
福島	2,127,000	18,642	2,246	1,784	123	0	12	135
茨城	2,985,000	22,877	3,023	2,286	72	0	54	126
栃木	2,005,000	15,613	2,293	1,967	97	0	24	121
群馬	2,025,000	16,144	1,764	1,637	69	0	15	84

都道府県名	平成13年							
	人口	死亡数	死体取り扱い 総数	死体規則に 基づく取り扱い 数	司法解剖数	監察医解剖 数	行政・承諾 解剖数	総解剖数
北海道	5,710,284	43,546	4,106	3,662	237	0	16	253
青森	1,472,540	13,302	1,652	1,467	140	0	17	157
岩手	1,419,505	12,218	1,499	702	89	0	1	90
宮城	2,368,591	17,368	1,982	1,727	156	0	4	160
秋田	1,182,583	11,896	1,228	774	96	0	22	118
山形	1,240,877	11,971	1,237	995	107	0	5	112
福島	2,124,404	19,091	2,260	1,890	98	0	7	105
茨城	2,993,101	23,168	3,121	2,677	92	0	38	130
栃木	2,010,422	11,266	2,327	1,917	77	0	21	98
群馬	2,032,471		1,816	1,678	68	0	9	77

都道府県名	承諾解剖実施の判断						承諾解剖の目的																	
	警察本部の刑事調査官	所轄警察署の担当課・係	検案医	主治の希望	遺族の希望	その他	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	その他の内容
北海道	4	6	4		2		5	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	4
青森	17						14	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手																								
宮城		4					1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田			22				0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	16
山形	5						5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島	7						5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城		22		7	9		8	2	0	0	0	7	7	0	4	0	0	1	0	1	1	0	7	
栃木	21						12	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬		9					1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0

都道府県名	平成13年(1～3月)の検案数				警察医		検案費負担者 (1:都道府県、 2:警察、3:医師会、 4:遺族、5:1～3の共同負担、 6:その他)	検案費の 金額	検案書発行手数料、 特段決まってい ない	検案書発行 手数料
	警察医	一般 臨床医	法医学者	認定医	警察医数	死体検案 認定医数				
北海道	1,025	257			228	1	4		2	
青森	231	207			31		4		2	
岩手	138	279	0	0	18	2	4			15,000
宮城	336	226	19		31	0	4		2	
秋田	91	96	1	38	34	7	1	23,000	2	
山形	126	210	0	0	17	0	4		2	
福島	321	332			36	13	4		2	
茨城	178	546	2	112	58	11	4		2	
栃木	307	279	0	0	39	0	4			
群馬	256	196		29	216	2	2		2	